

明治乳業 関東工場 で 死亡災害 発生

なぜ続く重大災害・・・問われる安全軽視の企業体質

臨時女性労働者が一人作業中
昇降機に挟まれる

明治乳業関東工場（埼玉県戸田市）で五月九日、二十一歳の臨時女性社員が一人作業中、ヨーグルト製造ラインの昇降機に挟まれて死亡するという重大災害が発生しました。

事故原因の全容はまだ明らかになっていませんが、過去の同類災害の教訓が生かされていない等、安全対策軽視が見えてきます。

明治乳業で続く死亡災害の犠牲者には、入社間もない若い労働者が目立ちます。未熟労働者への機械設備・構造の教育や、十分な見習い作業などが正しく行なわれていたのでしょうか。また、一人作業での災害発生

などは、過去の痛ましい教訓がまったく生かされない結果であり、安全対策・配慮義務の軽視や、経済効率最優先の企業体質が、厳しく問われなければなりません。

いま、明治乳業と親会社・明治ホールディングスに求められるのは、①現場の労働実態に基づく徹底した真相究明、②遺族への誠意ある対応と完全補償、③再発防止への全社的な緊急総点検などです。同時に、経済効率最優先を生産現場の声に基づいて見直し、「安全・安心」が最優先とされる、健全な企業活動を行なうことではないでしょうか。



私たちは実現に向け皆さんと一緒に頑張ります

明治乳業で死亡災害が

- 1976年 神奈川工場 転落死
- 1976年 市川工場 頸部挟まれ死(箱積機)
- 1985年 稚内工場 腐食消火器暴発死
- 1987年 京都工場 屋根から転落死
- 2002年 守谷工場 頭部挟まれ死(充填機)
- 2010年 明治ロジック(子会社) 挟まれ死(リフトと壁の間)
- 2010年 関東工場 上半身挟まれ死(昇降機)

◎ 事故の原因を徹底究明し

調査内容を隠すことなく速やかに公表すること。

◎ 被災者と遺族に最大の弔慰と完全補償を行うこと。

◎ 二度と起こさぬ緊急職場総点検を全社的に

不安全箇所・安全対策と教育実習・人員配置等の見直しを

現場尊重を基本に行うこと。